教育委員会定例会（平成２２年４月）会議録

１．日　　時	平成２２年４月２日（金）　１４：３０　～　１５：２０
２．場　　所	新居浜市市民文化センター別館４階　大会議室
３．出　席　者	委員長　宇野征一 委　員　太田恵理子　三木由紀子　小野正師 教育長　阿部義澄 事務局長　髙橋康文 総括次長　近藤清治 次　長　秋本　司 課　長　関　福生　藤田秀喜　曽我幸一 伊藤繁次郎 館　長　坂本睦美
４．教育長の 一般報告	教育長報告 ３月分行事報告及び４月分行事予定について その他
５．記録者氏名	社会教育課　帆谷　麻衣
	＜その他＞

宇野委員長	それでは定刻がまいりましたので、平成２２年第４回新居浜市教育委員会定例会を開催いたします。 本日の会議録署名委員は、三木委員さん、小野委員さんにお願いいたします。会期は本日限りといたします。平成２２年第３回定例会会議録署名委員は、太田委員さんと、三木委員さんにご署名をいただいております。 それでは、教育長さんの一般報告をお願いします。
阿部教育長	それでは、一般報告を行います。資料の２ページをご覧ください。 ３月の主な行事についてご報告いたします。 １０日～１５日までの期間　３月議会での予算特別委員会が開催され、教育委員会は１５日に説明を行いました。 １４日　第３４回愛媛県選抜珠算選手権大会が新居浜市で開催され、県下の各教室の代表の約１２０名が全日本珠算選手権大会と四国珠算選手権大会の県代表を選出されることから気迫のこもった珠算の協議会でした。２、８秒で三桁の数字１０個を足し算するという、フラッシュ暗算での正解者がいたことには驚きました。努力の積み重ねで、人間の能力の素晴らしさを教えられました。 １６日　平成２１年度改革発表会「KZKI(気づき)」が開催され、教育委員会からは図書館の「弱者にやさしい丁寧な図書館サービスによる利用拡大」の提案が、迅速丁寧部門の優秀賞に選ばれました。 今治特別支援学校新居浜分校で卒業式が執り行われました。小学部２名、中学部６名（新居浜市出身）が卒業いたしました。 １７日　市内中学校での卒業式が厳粛な雰囲気のもとに、心あふれる内容で儀式が執り行われました。市内全体で、１，１６３名が卒業していきました。 １８日　県立高校の入学試験合格発表がありました。 １９日　本会議が開催され、各委員会の委員長報告等が行われました。 垣生校区で活躍する読み聞かせグループ「はーぶんこ」より、グループが今年度制作した冊子「垣生むかし話」の寄贈を受けました。学校支援地域本部事業の一環として、垣生小学校での読み聞かせ活動を行うこのグループは、垣生のむかし話を方言で語り、垣生の子供たちが自分のまちに誇りを持つことができるようにと熱心に活動されています。 ２０日　第２４期新居浜市体育指導委員協議会総会が開催されました。平成２１年度の事業報告や決算報告、平成２２年度の事業計画や予算について審議され承認されました。また、体育指導委員として３期務められた６名の方が表彰されました。 ２４日　市内小学校での卒業式が温かい在校生のことばの中で執り行われました。市全体では、１，２０１名が小学校課程を終えました。私は神郷小学校の卒業式に参加いたしました。１１９名の卒業生が落ち着いた表情で、卒業証書を授与されている姿の中に、新たな決意を感じ取ることができました。後ほど中学校の感想も含めてご報告いただければと思います。 ２５日　公立小・中学校で修了式が行われ、子どもたちは次年度の進級への思いを春休み中に培ってほしいものです。 ３１日　長年お世話になりました、神郷幼稚園曽我部啓子教諭がご

	退職をされることになりました。大変ご苦労様でした。 　４月１日　平成２２年度が開始されました。平成２２年度人事異動に伴う辞令交付式が執り行われ、新たな陣容で教育委員会事務局が出発することになりました。 　その他　４月の主な行事予定について報告を申し上げます。 　　５日　新規採用教員着任式 　　第２５期体育指導委員委嘱式 　　７日　学校予算配分説明会 　　８日　公立幼・小・中学校第１学期始業式 　　小学校・今治特別支援学校新居浜分校・新高専入学式 　　児童生徒を守り育てる日 　　９日　中学校入学式 　１０日～２５日　第４３回にいはま春の市民文化祭 　１１日　人権のつどい日 　１２日　幼稚園入園式 　　第１回小中学校長研修会 　　スポーツ推進委員委嘱式 　１４日　教科・教科外主任会 　１８日　市民歩け歩け大会 　２０日　全国学力・学習状況調査 　２２日　市連合婦人会総会 　２３日　第１回教頭研修会 　２４日～２９日　市長旗争奪中学校選手権大会 　２８日　四国都市教育長連絡協議会総会 　以上で、一般報告を終わります。
宇野委員長	ありがとうございました。ただいまの一般報告についてのご質問等ありませんか。 　それでは、教育長さんの報告にもありましたように３月１７日に中学校の卒業式、２４日に小学校の卒業式がありました。出席された方は感想をお願いいたします。
小野委員	私は、西中学校、大生院小学校に出席させていただきました。西中学校の卒業式は、初めて参加させていただいたのですが、合唱が素晴らしいとお聞きしておりました。『仰げば尊し』『蛍の光』を男女パート別の二部合唱で初めて聞きました。他の歌も合唱が素晴らしく、本当に感動いたしました。卒業式ですので、子どもたちにとっては３年間の集大成であり、感動する場であったと思います。佐藤校長先生が子どもたち１人１人に言葉をかけながら卒業証書を渡しておりました。声は聞こえませんでしたが、「ようがんばったね。」「ようやったね。これからも頑張るんよ。」というように声をかけられたのではないかと思います。その姿を見ていて子どもたちにとっても感動の場であるけれども、先生方にとっても自分の教育の集大成、子どもと同じ３年間を過ごして先生にとっても感動の場であったのだと思います。

	先ほど、教育委員長が組織はトップで決まるということをお話されておりましたけれども、その通りだと思いますので、リーダーの思いや考え、目指す方向が大事なのだと改めて感じさせていただきました。 大生院小学校につきましては、かわいらしい子どもさんの楽しい卒業式を見学させていただきました。ありがとうございました。
三木委員	私は、泉川中学校、角野小学校に出席させていただきました。校区以外の学校の卒業式に出席するのは初めてでしたので、私自身がすごく緊張しながら参加させていただきました。やはり卒業式のもつ雰囲気からか、中学生は緊張して少し恥ずかしそうにしながら、自分の将来への夢と別れの辛さの両方を感じているようで、どこの学校でも同じだなと思いました。初めて参加させていただきましたが、感動的ないい卒業式でした。 角野小学校へは、今までも学校評議員として参加させていただいておりましたが、今年は教育委員として参加させていただきました。角野小学校では、卒業証書授与後に児童が将来の夢や小学校で一番楽しかったことについてマイクの前で一言話します。いつもうれしくなりながら聞いておりますが、よくあるのはプロ野球の選手やサッカーの選手が多いのですが、「しっかり勉強してノーベル賞をとれるような学者になりたい」という子どもがいて、感心いたしました。いろいろな分野でみんなができる限りの方向を目指す思いを小学校のときから持っている子どもがいることに私自身もすごく感動しました。どちらもいい卒業式でした。ありがとうございました。以上です。
宇野委員長	私は船木中学校、船木小学校に出席させていただきました。『仰げば尊し』『蛍の光』『校歌』は名曲だと改めて実感しました。音楽は心を繋ぎ、感動させる素晴らしいものを持っていると思いました。 三木委員さんも言われましたが、船木小学校の児童は将来の夢を英語で話しておりました。そのなかで消防士がすごく多かったように思いました。６年間のなかで消防士さんとの関わりが非常に大きく、防災教育で関わった効果なのかなと思いました。 中学校については、私は校歌については何回も聞き、歌ったことがありますが、今年は特に素晴らしかったです。私も毎年歌うのですが、子どもの声があまりにも素晴らしかったので、最初歌えませんでした。感動的な卒業式に参加させていただきました。以上です。
髙橋事務局長	私は、多喜浜小学校に出席させていただきました。本当に久しぶりに小学校の卒業式に参加させていただきました。校長先生が卒業証書を渡すときに１人１人が決意表明をするのですが、たいへん大きな声

	で立派に全員が素晴らしい決意表明をしておりました。卒業式のなかでお祝いの言葉を述べさせていただいたのですが、席を立った途端に卒業生全員がピシッと起立をしてくれて、そのきびきびした様子に大変感動をいたしました。その後卒業生とのふれあいがあったのですが、全員がそれぞれの言葉で話すことができておりました。あいにくの雨で非常に寒かったのですが、大変感動的な卒業式だと思いました。
秋本次長	私は、東中学校へ出席させていただきました。学校長の祝辞は卒業にあたって卒業生に今後の人生の指針について述べられました。卒業生を送るにあたって、こうなって欲しいと願いのような言葉だったと思います。そのなかで校長先生が２つのことを言われました。１つは「広い視野に立ち自分を見つめられる人になれ」もう１つは「汗をかくことに喜びを感じる人になって欲しい」そのなかで「人間というものは心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。運命が変われば人生が変わる。」ということを言われており、卒業生に校長先生の気持ちが伝えられたのではないかと思います。校長先生の気持ちのこもった式辞で大変よかったと思います。
小野委員	質問なのですが、現在中学校の卒業式は校長先生から要請がないと教育委員会からは参加しないのですか。
秋本次長	はい。そのようになっております。
小野委員	以前は全学校に手分けして教育委員会の職員の方も参加されていたかと思います。できれば卒業式に出席して、教育委員会からのお祝いの言葉を述べさせていただいて、そして教育委員会のなかで活躍されている課長さんにも学校現場の最後のときには、自分たちの関わっている教育委員会という大きな中で、卒業式を自分の目で見て、現場の空気を味わい、感動も共感することが大切だと思います。全員が手分けして参加できるような方向で、来年からはお願いできないかと思います。校長先生の判断で教育委員会から来てもらわなくていいというのはいかがなものかと感じたものですから、ぜひ来年からはお願いします。
秋本次長	３月１７日は議会の関係で重なったことが以前あり、どうすることもできない時期がありましたので、やむを得ずこのような体制になったのが現在も続いている状況なのではないかと思います。

小野委員	ぜひ皆さんで手分けして参加していただけたらと思います。
宇野委員長	検討の余地ありということですね。 それでは、その他 教育委員会資料についてお願いします。
阿部教育長	はい。不登校、生徒指導関係についてご報告いたします。平成２１年度、１年間で不登校により３０日以上欠席した児童・生徒数は１１５名でした。平成１７年度以後で一番減少し、おそらく平成１４年以降でも一番減少してきているのではないかと思います。全国平均は、小学校が０．３２％、中学校が２．８９％となっており、新居浜市の児童・生徒数で計算しますと小学校で２２名、中学校１００名となっております。今年は中学校で９５名でしたので、初めて全国平均を下回りました。教育委員会、学校、生徒、保護者、地域の方々の支援の成果があったのではないかと思います。昨年度との比較で小学校の不登校数が８名から２０名に増加しておりますが、これまでの病気欠席を見直したことから増加しております。中学校は１１７名から９５名と減少しております。平成２１年度の不登校児童・生徒数で小学校２０名のうち２名、中学校９５名のうち３名は３学期欠席なしで復帰しております。 次に不登校児童・生徒の理由についての調査表があります。不登校の子どもの理由を見ていくと、無気力が理由で欠席している子どもは２８名、無気力＋αは１８名、中学校９５名のうち４６名（４８％）の子どもが無気力で欠席しております。次に不安が１６名、不安＋αが２４名、９５名のうち４０名（４２％）の子どもが不安を感じているということ。遊び・非行型は９５名のうち１３名（１４％）でした。新居浜市の不登校の子どもは精神的な無気力、不安が第一の原因であることを我々も学校現場も保護者も地域もふまえて取り組まなければならないのではないかという思いがしました。そして、遊び型、遊び＋αの子どもは中学１年生ではゼロです。そして、中学２年生で１名、中学３年生で１２名となっており、中学３年生になると一気に遊び型が増加しております。その事実を考えてみますと、無気力は中学３年生では２０名ですが、１年生にもおりますことから学年が進むごとにつれて学習に対しての魅力を失ってきたことが遊び型の不登校生が増えてくる原因なのではないかと思います。新居浜市の子どもは小学校から中学校に上がるときには、ほとんどが勉強を頑張ろうという思いでいることがこの調査からわかったような気がします。学校の教職員、または保護者は、子どもが無気力になったり、不安になったりすることを速やかに解決してあげることが大切です。そして学校の教員は楽しく、子どもにわかりやすい授業をしなければ、中学１年生、２年生で溜まった思いが中学３年生で意思表示として出て、遊び型に

	なってしまうのではないでしょうか。逆に言えば、不登校・遊び型にしてしまったのは、学校の教員ではないかなと思います。自己反省する意味でも捉え直してもいいのではないかと思います。もちろん本人の責任だと思いますが、勉強嫌いになる子どもを学校の先生、教育委員会としては把握することが不登校を減らすことにつながると思います。この理由調査の結果からそのような思いがいたしました。教育委員会としては、自分の気持ちを発散できて行為として行動として表せる体験活動をする。また不安については、相談活動をより充実させ相談しやすい環境をつくる。やはりタイミングが大事だと思いますし、チャンス相談、悩んでいる子どもに声かけができるテクニックを高めていく必要があるのではないかとこの資料から読み取ることができると思います。そのあたりを平成２２年度の新たな取組として取り組んでいきたいと思います。 　次に、いじめに関してですが、１年間を通して小・中合わせて４４件あり、すべて解決済の報告を受けております。 　続きまして不審者情報ですが、今年は２８件の不審者情報がありました。内訳としては下半身の露出が１４件と半数を占めております。平成２０年度は２７件中１０件、平成１９年度は２３件中５件、平成１８年度は３５件中０件ということで、下半身露出が増加しているのが気になる状況です。以上が生徒指導関係のご報告になります。
宇野委員長	ご質問ありませんか。その他ありますか。
秋本次長	平成２２年度の学校情報ということで、平成２２年度の教職員等の数を各学校別に記載した資料をご覧ください。 ＜資料に基づき説明＞
阿部教育長	今年度の生徒数ですが、小学校の通常学級生徒数６，８７９名・特別支援学級生徒数６６名で合計６，９４５名、中学校の通常学級生徒数３，４７６名・特別支援学級生徒数２９名で合計３，５０５名となっております。
宇野委員長	質問はありませんか。 　それでは、次回の開催日を決めさせていただきたいと思います。５月の定例会は５月６日木曜日１６時００分より開催させていただきます。 　それでは、平成２２年第４回教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

	新居浜市教育委員会会議規則第５４条の規定により署名する。 委員名 委員名